

住職のひとりごと

今年1月、新型コロナウイルスが報道されたときは、ほとんどの人が無関心、4月に「緊急事態宣言」が発出されたときも、我慢すれば程なく終焉するのだらうと思った。暑い夏もマスクを耐えてきた。そして迎えた冬、第三波の到来・・・どこかで慣れ、どこかで疲れ、それでも耐えている毎日。世界規模で人類が試されているのだと思います。お寺も今試験の中にあります。

マスク着用、手指の消毒、ソーシャルディスタンスの確保、そして換気がこれから冬を迎えるにあたり、これがとつても難しい。ですが最大限の努力と注意を払いながら、やるべきことはやっています。本堂内の席は半分以下に減らし、外にテントを張りました。法要の後のお楽しみ「会食」は止めましたが、例年とほぼ変わらない参詣者で、とてもありがたかったです。恒例の「団参」は取り止めとしました。

暮のお経廻りの予定

- 12月1日 稲子～芝川・大久保
2日 精進川と下条
3日 4日 下条、青木～馬見塚
5日(土) 万野原新田、大岩・舟久保町・村山・小泉
6日(日) 富士市
7日～8日 青木～馬見塚の残、大中里・外神・穂波町・淀師・淀川町・中島町西町・貴船町・泉町・大宮町
9日 北山・上井出・山宮・富士見ヶ丘・宮原・源道寺・野中・星山
10日 宮町・西町・宝町・豊町～柚野
11日 三島～清水・静岡・柚野
12日(土) 富士市～由井、内房、大久保、希望者
13日(日) 希望者 柚野
14日～柚野
* 当方の都合で日付変更もあります。
** 変更を希望する方は ご連絡ください。



保存か解体かで揺れ、2,031年まで県が管理、現在は「震災復興祈念公園」の中に。



震災直後の南三陸町「防災対策庁舎」屋上に避難した多くの方が津波の犠牲に・・・

こちらはあくまでも楽しみの行事なので、皆が心から笑い合えないことは無意味だと判断しました。
●そんな中、お会式の翌日から4日間、東日本大震災の被災地を訪ねてきました。震災直後からボランティアに通い、その後も定期的に訪ねていたのですがここ何年か遠ざかっていました。現地は復興整備が進み、かつての傷跡も消えつつあります。

タイゼン・ケイタイ ; 090-2180-8591

それぞれの自治体に「震災伝承施設」が建設され、震災の悲惨さ、復興の歴史、未来へ教訓などが、展示されています。ただこれまで、被災の現場に立ち、卒塔婆を建て、香を焚き、お経を唱え、犠牲者を弔ってきた者として、そういう場所が整理されなくなっていたことは残念でした。今、祈りの場は献花台に象徴されていますが、日本中のお坊さんが、訪れ、大きな声でお経があげられる、そんな場所が欲しい、と思いました。
●年末・年始の行事ですが、31日夜の「年越しの唱題行」は、換気ができませんので泰潤と2人でいきます。(そつと参加してくれることはかまいません)
2日の「元旦会」は予定通り、1月20日からの『寒行』は大きな声と、密接が避けられない、との理由から、お坊さんのみで行うこととしました。15年前にスタートした時の原点に戻ってみよう、との思いもあります。戸口でのお経は受け付け、浄財は小学校に寄付することは変わりません。よろしくご理解ください。
【泰然記】

興徳寺便り

第130号 (復刊第55号) 令和2年暮

忍辱 (にんにく)

君ならできる 葉 祥明

今どんなに苦しくても 今日 いち日 我慢できれば それでいい 次の日は次の日です また我慢すればいい そうやって一日一日 我慢していけば いつか もう 我慢しなくていい日が 必ず来る その日まで 大丈夫 君なら きつと耐えていける

葉 祥明; 絵本作家、画家、詩人。昭和21年熊本市で生まれる。74歳。立教大学経済学部、セツ・モードセミナー卒業後、ニューヨークのアート・スチューデントズ・リーグに留学、油絵を学ぶ。多くの絵本の作者として知られ、絵本・詩集など書籍の出版数は300点以上。「君ならできる」は小学校5年の国語の教科書に。



にんにくの花

新型コロナウイルスの流行により一変してしまった私達の生活ですが、いまだに終焉の見込みがありません。4月の緊急事態宣言の頃は皆、覚悟を決めて、自粛を受け入れましたが、経済優先の政策のもと再び感染が広まっています。状況が日常化し、危機感が薄まっていることも確かでしょう。

忍辱(にんにく)という言葉の言葉があります。苦しいことに耐え忍ぶ修行のことです。忍耐と同じ意味ではありませんが、ただガマンするだけでは限界が

きます。これは自分が(私たちが)成長するために必要な修行として与えられたのだと受けとめる事。もうじき厳しい冬を迎えますが、冬は必ず春になります。朝の来ない夜はなく、出口のないトンネルもありません。
宗祖日蓮大聖人は「御衣並単衣御書(おんころもならびにひとえごしよ)」に「法華経の法師品(ほっしほん)に柔和忍辱(にゅうわんにんじく)の衣と説かれており法華経を弘通する者は必ず慈悲にあふれた優しい心と困難に耐え忍ぶ強い心の両面を備えた衣を持っているし、着なければならぬ」と仰せです。
相手を思うやさしい心と困難を受け入れ耐える強い心、我慢(がまん)の先に必ず明るい未来があることを信じましょう。
つらいことに直面した時は「ニンニク! ニンニク!・・・」と笑いながら受けとめ、困難を乗り切っていくまじょう。
ダイジョウブ、あなたなら きつと耐えていける。



「コロナ禍で迎えた「お会式」、僧侶・スタッフ・参加者全員がマスクをつけて、できる限りの距離をとって



お会式2020



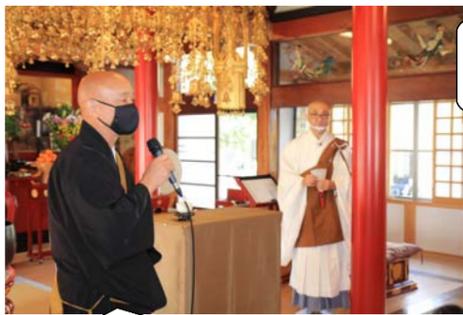
勤めさせていただきました。温かな日より恵まれ、外のテントの方々にも最後までご参列

「法話」は、西伊豆・戸田・三光寺ご住職、石川康玄上人、



在家より仏縁をいただき出家、修行の中で得られた大きな学びについてユーモアを交え語って下さいました。同行された檀家さんともども感激。

(松永さんと) 修行の最後、信行(しんぎょう)道場で一緒の班でした。



Jazzのプロドラマー、ライブに行きましたが、とってもカッコいい、です。

無事の終了、心よりの感謝！です。

【写真】高瀬幹雄、野澤和俊

暮れから年始のご案内

12月20日(日) 8:00~ **本堂の大掃除**
暮の忙しい時期ですが 御協力できる方は お願いいたします。2時間程度です。

12月27日(日) 15:00~ **写経** 16:00~ **唱題行**

12月31日 **除夜の唱題行** 23:30~
大晦日から新年にかけて1時間の唱題行ですが、冷え込みが厳しく、換気をする事ができませんので 一般の参加は無し、といたします。

1月2日 **新年初法要** 10:00~ 法要 引き続き 法話
興徳寺の初詣です。ほとけさま、ご先祖さまに 越年(おつねん)の感謝の祈りを捧げ、新しき年の 安穏と 新型コロナウイルスの早期終焉を 御祈願いたします。いつものように オイシイ甘酒とお汁粉、お年玉付き。お誘いあわせでどうぞ。

1月20日~2月3日 **寒行**
今年の寒行は、お坊さんだけで実施することといたしました。
1月20~22日:興徳寺、23~25日:妙覚寺、26~28日:常境寺、29~31日:三澤寺
2月1日:定林寺、2月2~3日:妙泉寺。(節分の豆まきはありません)
近くを通ったら、出迎えていただければ幸いです。

1月24日(日) と 2月28日(日) 15:00~ **写経と唱題行**



高瀬幹雄氏のドローン撮影

彼岸花の興徳寺

上空からの彼岸花。石段左下の花がまばらな所は、イノシシに掘られたあとです。